



少人数クラス授業やっています！

生徒1人ひとりのための授業をめざして

塚田 誠（大阪府守口市立第四中学校）

はじめに

「外国語を学ぶためのクラスの人数は少ない方がよい」というのは当然のことなのですが、公立学校では1クラス40人という枠組みの中でしか授業をすることができません。正直いって、普通の授業では教科書や文法項目をこなすためにサッと流してしまう場合や、理解が十分にできていない生徒たちがいても「ハイ、次行くよ」となってしまうがちです。テスト前の学習会などで何とか救いたい……と思うのですが、そういう生徒は参加してくれず、わからないところやつまずきがそのままになってしまうというのが現状です。「やっぱり授業で勝負！」と気合いを入れるものの、50分の中で1人にずっとついてあげられるはずもなく、お互いに消化不良が続きます。「英語イミわからんからホンマやる気せんわぁ」とか言われてしまうと、自分の力不足が悔しいやら、哀しいやら。どうにかならないものかと悩みます。

本校では、既に数学科が週に1時間、2クラスずつを同じ時間に授業を組んで、約80人を3グループに分けて問題演習をするという形での少人数授業に取り組んでいました。時間割調整や教室配置などについても特に問題なくやっているようでしたし、生徒たちの反応も良かったので、英語科でも良いのではないかと考えてみました。3年生の選択履修の時間数拡大にもなって、数学科では習熟度別学習にも取り組んでみるとのこと。英語科も負けてはいられません。

生徒たちのニーズに応えた形での少人数クラス授業展開を学校全体で考えていくこととなりました。これは大変だぁ。

なぜ少人数学習か

少人数クラスで授業を行うと、具体的にはどんな効果が期待できるのでしょうか。やるからには生徒たちに「効果があった」と実感してもらえるようにしたいものです。生徒たちのつづやきなどを参考に目標とするポイントを2つ決めました。

- ・理解が不十分な生徒・集中力が続かない生徒に対して、その場でフォロー（声かけなど）していく。
- ・個々に応じたつまずき・苦手なところを解決していけるように、できるだけ個別に手助けする。

どちらも当たり前のことですが、これだけで「英語嫌い」状態から救われる生徒は結構いると思われます。授業体制としては、3年生の通常授業（週3時間）を出席番号などによる単純2グループ展開（各18、19人）で行うこととしました。前から3列程度で着席することができるので、巡視も素早く必要に応じて充分にできるし、目が行き届く距離感といえるでしょう。さらに、個々のつまずき・苦手なところを「学び直し」できる機会を設定するために、選択履修の時間を活用して、3年生の選択履修（週1時間）を習熟度別の3コース展開（基礎10人程度、標準15人程度、発展15人程度）で2年までの既習事項を復習・問題練習していく時間としました。

1・2年生に対しては、通常授業（週3時間）のうち1時間をTT授業にして、質問しやすい環境づくりや巡視・フォローの充実を図っています。（これは囑託の先生が来ていただけることで時間数的に可能になりました。）

3年生の通常授業は2人の教員が2つの教室で同時に行うことになるため、指導ポイント、例文の出し方、練習問題や解説の内容など、授業進度を合わ

< 各学年の英語科授業体制 >

	通常授業 (教科書中心)	選択履修授業 (復習の内容)
1年 (4クラス)	週3時間のうち1時間をT T授業	
2年 (3クラス)	週3時間のうち1時間をT T授業	
3年 (4クラス)	週3時間を単純2グループ展開授業	週1時間を習熟度別3コース展開授業 (基礎・標準・発展)

せていくためのミーティングがかなり重要になります。また、各単元の導入やまとめを合同授業にするなどして調整を行っています。2レッスンごとぐらいでグループ替え・教室交換をしていますので、学習環境や担当教員との相性といった問題はおおむね解消されているように思います。

習熟度別の授業に関しては、公立校ですべきことなのか、生徒たちの感じ方はどうなのか、評価をどうするのか、といった点でかなり話し合いをしました。つまりきや苦手なところの「学び直し」の機会を生徒たちが強く求めていること、コース分けテストは実施するがコース選択は生徒の希望に基づいて決定すること、選択履修の時間であるから授業に取り組む態度および提出物のみで成績をつけて、テストの点数や英語力に関しては評価の規準に入れないこと、などを確認して実施に踏み切ることになりました。どちらも初めての試み、やりながらいろいろな問題が出てきます。

実際の授業に取り組んで

生徒たちの反応は、おおむね好評で表情にはやる気が感じられます (3年生のスタート時というのはそんなものなのかも知れませんが)、しかし準備段階からたくさんハードルがありました。思い出せるままに書き留めておきます。

< 時間割・教室配置 >

数学科も同じ取り組みをしていることから3年生の英語と数学が重なる時間は最大5つの教室 (数学3展開・英語2展開、またはその逆など) が必要になります。春休みに間仕切り工事をしてきた小教室2つがあったので、何とか乗り切れました。時間割を組むのが大変で、英・数優先で組まざるを得なくなり、時間割担当者とは他教科の先生たちにもかなり迷惑をかけています。

< クラス分け >

普通のクラス分け以外に、英語科通常授業用・習熟度授業用、数学科通常授業用・習熟度授業用、その他の選択履修授業用のクラス分けと、およそ5、6種類のクラス表を各教室に貼り出すこととなり、担任の先生もとても把握できない状態になっています。生徒たちは次第に慣れていくことにはなりますが、見回りの先生が「教室に入れる指導」をするためには、時間割表と複数の名表を持たなくてはなりません。しかも合同授業やグループ替えなどもあり、最終的には生徒の自律に期待するしかありません。

< ALTとの授業 >

基本的には、通常授業では25分程度の活動を2回、習熟度別授業では15分程度のリスニング練習を同じように3回してもらおう (基礎コースでは質問内容を解説する、日本語で答えさせるなど配慮した) というパターンで行いました。時間が足りなくなったALTが教室の場所がわからなくなった、ということが何度かありました。班対抗ゲームにしたい、じっくり英作文をさせて添削してもらいたいなど、目的に応じて合同授業という形にしたりすることもありました。ミーティングをする時間がきちんと取れないときは授業担当3人とも混乱して、どのタイミングでALTがやって来るのか、足音を気にしながら授業をするということもありました。

< 担当教員との相性 >

他学年からその時間だけ授業応援に来てもらっていることから、(強く注意したなどの原因で)一度関係がこじれると、修復したいのに1週間後まで顔を合わせないという状況があります。学年の先生、担任の先生から何とかフォローしておいてもらわないと、次週10人程度の少人数クラスで「絶対会話したくない!」と思っているのは生徒にもシンドイものです。せっかくの「学び直し」の機会を大切にできるようになかなか気を遣います。

生徒たちの声から

生徒たちから意見を聞く機会は何度かありましたが、きちんとした形でアンケートにまとめられたものは年度末にしか実施できませんでした。特に「3展開習熟度別授業」について質問しています。生徒たちの意見から今後の取り組み方を考えていきたいと考えています。



英語3展開授業アンケート

3年()組()基礎・標準・発展コース
3展開授業でよかったと思うことを書いてください。
3展開授業でよくなかったと思うことを書いてください。
その他、英語の授業でやってよかったこと、やってほしかったことなど自由に書いてください。
メッセージなどあれば書いてください。
ご協力ありがとうございます。来年度への参考にします。

<生徒の回答(抜粋)>

3展開授業でよかったと思うこと

<基礎コース>

- ・基本をもう1回勉強できてよかった。
- ・人数が少ないから先生がちゃんと教えてくれる。
- ・3展開授業では集中してできた。

できていないところを復習できるのがよい、という意見が多い。1対1でわかるまで丁寧に教えてほしいという要望が強い。

<標準コース>

- ・人数が少ないから質問しやすかった。
- ・自分のペースで勉強できたからよかった。
- ・テストの点が少し上がった。
- ・普通の授業では進んでばかりやけど、いろいろ説明してくれてよかった。

基本は何となくわかっているが、きちんと説明を聞いて理解したいという意見が多い。

<発展コース>

- ・難しかったけどやってよかった。
- ・自分でどんどん進んで行けたのでヒマにならなかった。
- ・周りの人たちとの競争意識からがんばれた。

通常の授業ではもの足りないので、ハイレベルな問題を求める声が多い。

3展開授業でよくなかったと思うこと

<基礎コース>

- ・問題がよくわからなかった。
- ・授業がうるさくて、ちゃんとできなかった。
- ・教室を移動するのが面倒だ。

集中力が続かない生徒が集まるため、しゃべってしまいやすい。「できない」同士の連帯感プラスマイナス両面ある。

<標準コース>

- ・もう少し1人ひとりに時間をかけてほしかった。
- ・説明が不十分だった。
- ・先生と相性が合わなかった。
- ・プリント類が多過ぎて、やらないままたまっていく。

自分がわかるまで説明してほしいという要望が特に強い。

<発展コース>

- ・問題が難しくすぎてついていけなかった。
- ・自分で問題を選べるようにしてほしい。
- ・問題を解くスピードにけっこう差がついた。

到達度にかなり差がでるため、難しすぎるという声もあった。

英語の授業でやってほしかったこと

<基礎コース>

- ・単語練習をもっとして覚えまくりたい。

- ・違う先生がよかった。
- ・もっと簡単な問題をやりたかった。
- <標準コース>
- ・長文問題をもっともっとやりたかった。
- ・基本ばかりでなく練習問題をたくさんやるべきだった。
- <発展コース>
- ・英作文の練習をもっとするべきだ。
- ・リスニングや会話練習をもっとしたかった。

基礎コースでは単語力アップ、標準コースでは長文問題対策、発展コースでは英作文や会話練習をしたいという声が目立つ。

メッセージなど

- ・英語が前より好きになった。
- ・英語の授業はおもしろい。
- ・英語しゃべりたくなった。

不満の声もいくつかあるものの、全体的に3展開授業で復習できてよかった、という意見が多いようです。1・2年時の学習項目を丁寧に確認していく時間は、生徒たちにとってかなり重要です。特に理解が不十分な生徒にとっては、通常授業はわからないままどんどん過ぎていってしまうという印象が強いので、ゆっくり時間をかけていっしょに復習してあげると「やっとわかった」「はじめて英語のイミがわかった」という感動が得られるようです。

グループ分けや教室移動、担当教員への不満（×先生の方がよかったのに……）などは、1年間いっしょに過ごしていくうちに解消していったものがほとんどでした。

基礎コースの中でも、アルファベットが書けない、be動詞がわからない、というレベルの生徒に対しては、1対1で対応するしかほとんど手がなくて、救いきれなかったという感もあります。さらに手厚い対応がどこまでできるのか、次への課題になります。

英語に興味がある、おもしろいという声はかなり多かったので、その気持ちに添えていけるように、今後も授業を工夫していかなければと思っています。

まとめとして

「少人数クラス授業」の取り組みも2年目が終わろうとしています。完全週5日制、「総合的な学習」の時間、選択履修の時間の拡大などで学校現場はさらにパタパタしていますが、他校でも「少人数授業に取り組んでいる」と聞くと、少しずつ定着してきた感があります。

やっていく中で、生徒たちが少しでも自分から「英語を学びたい!」と思う、つまずきが解消されるなどの効果は、ある程度想像できていたのですが、1人ひとりが頑張るだけでなく、各コースの中で「教え合い」が多く見られたのはうれしい驚きでした。特に、基礎コースの生徒たちの間で「私も前までわからへんかってんけどなあ……」と言いながら教えている姿を見たときには、かなり感動しました。教卓から一方的に教えていたのでは決して見ることのできなかった姿だと思います。まだまだ未熟な私ですが、生徒たち1人ひとりを大切にしたい授業をめざしてこれからも工夫していこう、との思いをさらに強くしています。



TEACHING ENGLISH NOW 別冊

2003年4月1日発行

編集・発行人：渡辺孝映

発行所：株式会社 三省堂

〒101-8371 東京都千代田区三崎町2-22-14

電話：03(3230)9421

E-mail：newcrown@sanseido-publ.co.jp

ホームページ：http://tb.sanseido.co.jp/newcrown/index.html